

『啄木のふるさと』『もりおかの短歌』

第1回 春の部 優秀賞発表

春の部優秀賞十首

『啄木のふるさと』『もりおかの短歌』は、啄木が生れ育った盛岡を訪れる観光客や市民による啄木短歌の特徴である『三行書き』の短歌づくりを通じて『短歌のまち もりおか』を推進することを目的に実施している事業です。

年間を四つの期間（夏の部・秋の部・冬の部・春の部）に分け募集。

第1回目の春の部は、平成21年3月から5月の3ヶ月間募集、観光客や市民の方々から多くの短歌が投稿され、この度優秀賞10首が選定されました。

投稿箱は、当所や盛岡市役所、啄木関連の観光施設、市内ホテルなどに設置しており、現在は第2回夏の部を募集しておりますので、啄木になつた気分で行書きの短歌に一度挑戦してみてはいかがでしょうか。



市内ホテル等に設置されている投稿ボックス

春の宵
裸電球ゆらめいて
大慈清水の今だ冷たき

宮城県仙台市 阿部 堅市

高松の池を飛び立つ
白鳥の群れの

写真が朝刊飾る

岩手県盛岡市 鈴木 充

自転車であらりと立寄り
小つなぎの命のノートに
力もらえり

愛知県清須市 宮内 孝典

「石をもて追はるるごとく……」

リストラの我が身重ねて
記念館観る

茨城県かすみがうら市 石井 明

根雪消え
黄砂と埃が舞う街の
イサゴダの店で制服を買う

岩手県花巻市 葛巻美音子

車椅子押して
石割桜観る
白寿の父の目線に合わせ

東京都江東区 藤村 清彦

もりおかで出会った私の人生しるべ
石割桜の
意志ある生き様

東京都目黒区 吉川 久代

城址の
立夏に咲きしフデリンドウ
烏帽子の岩に負けぬりりしき

東京都三鷹市 河津 優司

啄木の如
城跡に寝転びて
空に描きし我が志

岩手県盛岡市 高西 良介

きららかにしだれかつらは風にゆれて
民子の歌碑を
寿ぐごとく立つ

宮城県石巻市 大和 昭彦

平成二十一年六月選 春の部
投稿数 百七十二首

選者 松田 久恵 氏